

いつもお世話になっている皆様へ

ゲイナン
ハウス

住まいる通信

2010

NO. 3

4月6日

ワイキキからダイヤモンドヘッドを望む

ダイヤモンドヘッド



河野

早いもので5月連休もあつと言う間に終わってしまい、テレビでは30度以上の真夏日のニュースが流れるなど、私の大嫌いな暑い夏が近づきつつあるようですが、皆さんお替りはございませんでしょうか。

さて、写真は父である相談役とハワイに行ってきた時の写真です。昨年の4月は母の生まれ故郷である韓国の釜山に行ってきましたが、今年は父やハワイにいる父の姉妹や従兄弟が健在な内にと4月に二人で行ってきました。詳細は後ほどのページに書きましたのでご覧いただければ幸いです。弊社は年度創業40周年を7月に迎えます。40年前に相談役が兄弟で創業し、以後倒産の危機に瀕しながらも今年40周年を迎えることができるのは、今、この「住まいる通信」を手にとってお読みいただいている皆様のお陰が第一ではありますが、私の曾祖父・祖父がハワイに移住し、そこで苦勞して稼いでくれたお蔭で現在の本社のある地を手に入れてくれたのですから、父が子供の頃住んでいたダイヤモンドヘッドの麓に行った時には、先人の苦勞に感謝し、頭を下げ感謝の意を表した次第です。

私にとっても、丁度40周年を迎える年にハワイに行くことができた事で、これからも先人の苦勞に報いるべく、皆様に喜ばれるゲイナンハウスへと進化させなくてはと言う使命感を得ることができ、しかも父親と水入らずで旅行でき、人生の思い出に残る1ページを作ることができ、とても良かったと思っています。

今年は40周年ということもあって、例年よりも行事も多くなりそうです。今年もたくさんのご参加社員一同お待ちしております。(啓)



特集

チョッと固い話ですが河野が感動した「日本の建築」建築家前川國男の自邸

今回の特集は私が最近感動した日本の建築について書いてみようと思います。住宅を作るものなら一度は見ておけといわれるのが、建築家「前川國男」の自邸です。昭和17年に建てられた住宅ながら、現在東京の小金井にある東京江戸建物園に移築されており、今年の2月に見学に行き、その建物の中に入ると、思わず「住んでみたい!」と思った建物です。それではチョッとご紹介いたします。



外観は大きな切妻屋根の民家風。とても昭和17年の建築とは思えず、現在でも十分受け入れられるデザインです。

右の写真を見ると、南面は大きな開口を配し、十分な日光を取り入れることが出来る。明るく広々としたサロンの空間は実に快適で、あまりの気持ちよさに驚きました。

前川 國男(まえかわくにょ)

明治38年(1905)5月14日 - 昭和61年(1986)6月26日
昭和期の建築家。

ル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドの元で学び、モダニズム建築の旗手として、第二次世界大戦後の日本建築界をリードした。

丹下健三、木村俊彦は前川事務所の出身。



前川邸間取

印刷では間取りは分かりにくいかも知れませんが、左右対称の間取りとなっており、とてもシンプルな構成です。玄関横の小部屋は女中部屋で、時代を感じさせられます。上の写真に階段が見えますが、サロンの部屋の上には7帖ほどのロフトがあり、近年の住宅でも大空間にロフトを設ける間取も多く、斬新さを感じます。

「住宅を作る者なら一度は見ておけ」と言われた通り、大いに学ぶべきことが多く、いずれ皆を連れて行ってみたいと思いますし、もっと日本の建築に触れなくてはと反省させられた次第です。これからも機会を作って勉強しなくてはいいけませんね!(啓)



父の生まれ故郷を訪ねて ハワイ



ハワイ:ヌアヌバリにて
左から、私、父そして父の姉(ハワイ在住)



パールハーバーにて



ハワイの親族
(父の従兄妹は皆元気な85歳以上です)

父(相談役)はハワイの生まれで、5歳ごろまでハワイで育ったようです。そこでチョットネットで移民について調べてみると、「1880年代、明治政府の進める急速な近代化と富国強兵政策の中、広島でも人口増加や米価の下落などにより、失業者や自分の土地を失って小作農となる人が増え、よりよい収入を求めてハワイへ移住する人が増えていきました。ハワイへの第1回移民船シティ・オブ・トーキョー号が横浜港から出帆した1885年(明治18年)から10年のうちに、11,122人(総人数の38.2%)の広島県人がハワイへ渡り、全国第1位の移民送出県となりました。」と書いてあります。

つまり私の曾祖父が明治の中頃新天地を求めてハワイに渡り昭和の初期に幼い父を連れて日本に戻ってきたようです。現在でも、父の姉や従兄妹(多数)も健在ではありますが、皆80歳を超えており、皆が元気な間に、そして先人が苦勞された地を見てみたいとの思いで行ってきました。

* * * * *

4月4日から4月9日まで、ハワイ滞在は4日間。短い日数でしたが、一日はキラウエヤ火山のあるハワイ島へも観光に行くことができました。(日帰りはきつかった!)一番行き良かった「パールハーバー」では、残念ながら沈んでいる戦艦アリゾナは工事のため見ることはできませんでしたが、穏やかで美しい風景から当時の悲惨な出来事を想像することは出来ませんでした。叔母に話を聞いてみると、アメリカ本土では日系人は皆収容所に送られたりしたそうですが、ハワイでは一世だけ収容所に送られただけで、叔母達二世には何も無かったとのこと。二世の叔父はアメリカ軍に従軍したと聞き、国とは、国籍とはと考えさせられました。ただ、アメリカは、かつて人種差別もあったにせよ、単一民族の日本と比べると懐の深い国なんだと実感もした次第です。

* * * * *

それにしても、ハワイの気候は過ごしやすく、日陰で風に吹かれるととても気持ちがよく、ウトウトと眠くなるほどです。残念ながら心残りは、海で泳ぐ時間が無かったことで、今回はもう少し時間をとってゆっくりと過ごしてみたいと思いつつハワイを後にしました。

皆さんも、ゆっくりとのんびりするにはハワイはお勧めです。じゃけど、チップの計算が面倒臭いのと、チョット遠いのが……
(啓)



4月23日
宮園公民館

宮園公民館での講演

毎年恒例の、廿日市店のある宮園地区の公民館で住まいについて話をさせていただきました。今年のテーマは「住まいのバリアフリー」。丁度住宅版エコポイントにバリアフリー工事も対象になっていることから、バリアフリーだけでなく、エコポイントの制度についても話をさせていただきました。平日の午後と言う事もあり、なかなか参加していただける方は多くはありませんが、地元の業者として話をさせていただきますので、ゲインハウスを少しでも知っていただければと、毎年お引き受けしております。

宮園地区も調べてみると今現在は60歳以上が22%ではありますが、50歳代が24%もあり、10年後にはかなりの高齢化団地になることが分かります。

これからも、地域に根ざしたリフォーム店を目指して、しっかりとした情報提供を進めます。

★イベント案内★

①大竹ゆめタウン展示会

日程:5月22日(土)・23日(日)

今年の3月から始めたゆめタウンでの展示会。

今回も、キッチン・システムバスなどたくさん展示します。

もちろん、今回もアンケートにお答えいただくと「たまご」1パックプレゼントです。

お買い物のついでにお立ち寄りください。デオデオさんの前です。

②廿日市店 4周年

日程:6月5日(土)・6日(日) 会場:廿日市店

今年でゲインハウス廿日市店は宮園で開設4周年

感謝の意を込めて、周年祭を行います。

楽しい企画でお待ちしております。



普天間基地移転やら、高速道路の料金が6月から変わるとか、何やら鳩山政権はガタガタしておりますが、ばら撒きと言われている補助金の制度が突然決まり戸惑う事が多い。最近案内が来たのは「既存住宅流通活性化事業」。売買する住宅だけが対象かと思っていたらそうではなく、一般の住宅でも上限100万円までリフォーム工事に補助してくれるそうだ。ただし、申し込み期限は5月末。これじゃあ、皆さんにお知らせする暇も無く、一体どう国は考えているのか不思議でなりません。国は借金でアップアップしているのですから、まずは借金を減らしてから、じっくりと業界を育てるべく補助金を使ってほしいと思うのは私だけでしょうか?(啓)

「住まいの困った」は
ゲインハウス
大竹店・廿日市店共に

フリー
ダイヤル

☎0120-505-375

ホームページ
アドレス

<http://www.geinan-hause.co.jp>

最後までお読み頂きありがとうございました。次回は6月発行予定です。(啓)